



ゆに 議会だより

第152号

平成31年2月1日

傍聴ありがとうございました



2 P ～ 第4回定例会のあらまし

4 P ～ 補正予算

5 P ～ 行政報告、教育行政報告

9 P ～ 一般質問

12 P ～ 町内所管事務調査報告

15 P ～ 議員の出席状況

16 P ～ 議会のうごき

12月12日開会した由仁町議会第4回定例会に、そらち南農業協同組合女性部由仁趣味の会の皆さんが傍聴されました。

傍聴は議会活動にふれる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などぜひご覧ください。

平成 30 年 第 4 回定例会



本年もよろしくお願ひします

由仁町議会

議長 熊林 和男
副議長 吉田 弘幸

議会運営委員会

委員長 後藤 篤人
副委員長 羽賀 直文

総務文教常任委員会

委員長 加藤 重夫
副委員長 早坂 寿博

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 英司
副委員長 羽賀 直文

委員長 吉田 弘幸
副委員長 羽賀 直文
委員 大竹 登
委員 後藤 篤人
委員 吉田 弘幸

平成 30 年第 4 回定例会は 12 月 12 日に召集され、会期を 14 日までの 3 日間として開会しました。

諸般の報告（会務、例月出納検査、総務文教常任委員会町内所管事務調査、産業厚生常任委員会町内所管事務調査）に続いて行政報告が行われ、一般質問は 3 名の議員が質問を行いました。

また、条例の一部改正案 3 件、計画の一部変更案 1 件、平成 30 年度各会計補正予算案 8 件、規約の変更案 1 件、意見書案 1 件について慎重に審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

条例の一部改正

- 由仁町議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
- 由仁町長及び副町長の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定
- 人事院勧告に準じて議会議員の期末手当、町長・副町長および教育長の期末手当ならびに職員の給料および期末・勤勉手当などを改めるため、関係条例の一部が改正されました。

- 由仁町税条例の一部を改正する条例の制定
- 地方税法などの改正に伴い、控除対象配偶者の定義が変更されました。

計画の一部変更

- 由仁町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更
- 町立診療所の患者輸送車を新たに購入するため、過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づき計画の一部を変更しました。

規約の変更

- 道央廃棄物処理組合規約の変更
- 組合焼却施設建設費に係る関係市町の負担割合を定めるため、規約の一部を変更しました。

意見書

- 日米物品貿易協定交渉に関する意見書の提出について
- 当該意見書を採択し、関係省庁に提出しました。
- 提出先 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 外務大臣
- 農林水産大臣
- 経済再生担当大臣



第 6 回臨時会

（平成 30 年 10 月 26 日）

災害復旧に関する議案（補正予算案）2 件について原案のとおり可決しました。

- ◎ 平成 30 年度由仁町一般会計補正予算
- ◎ 平成 30 年度由仁町農業集落排水事業特別会計補正予算

行政報告（町長 松村 諭）

ふるさと寄附金の受付状況について

12月1日現在の寄附金の額は、受付ベースで2,770件、8,343万円となっています。昨年の同時期と比べますと件数で676件、金額で1,366万円の減となっています。

ふるさと寄附金の返礼品については、総務省からの通知に基づき、10月1日からすべての返礼品を寄附額の3割以下とし、地場産品以外と考えられる返礼品についても見直しました。

今後も、より多くの寄附者の共感を得ることができるよう努めていきます。

地域おこし協力隊の採用について



10月1日付けで「地域おこし協力隊」として千葉県市川市から石塚あゆみさんを採用しました。

隊員募集は、町の公式ホームページおよび一般社団法人移住・交流推進機構のホームページを通じて行いました。

1年目の活動拠点は勤労福祉センター内の「移住支援交流センター」で、先輩協力隊員のアドバイスを受けて、町の移住・定住に関する業務に携わりながら、将来の起業または就業、任期後の定住に向けて平成33年3月まで活動続ける予定です。

JR室蘭線活性化連絡協議会の設置について

JR北海道が「単独では維持することが困難な線区」としている室蘭線の沿線自治体との協議状況は、空知管内の岩見沢市、栗山町とは維持・存続を前提とした首長懇談会をこれまで3回開催し、意見を重ね続けてきました。

隣接する胆振管内安平町とは、当町が窓口となり、空知と胆振、お互いの情報交換を図りながら利用促進に取り組んできましたが、「沿線市町が一体となった協議の場」として、去る11月8日、岩見沢市、苫小牧市、栗山町、安平町との沿線5市町による「JR室蘭線活性化連絡協議会」を設立しました。

協議会としての今後の取り組みは、JR北海道が国に対して提出しなければならない区間ごとの事業計画「アクションプラン」策定のための協力や路線の維持・存続に向けた協議を行っていきます。

補正予算

（単位：千円）

会 計 名		補正前の額	補正後の額	補正額
一 般 会 計		5,286,135	5,385,054	98,919
		(主な内容) ・職員給与費 △ 2,461 ・ファイターズ応援大使サイン作成業務 1,186 ・ふるさと寄附金返礼品など 15,050 ・ふるさと納税システム使用料 3,284 ・ふるさと基金費積立金 30,000 ・社会保障・税番号制度システム整備業務 3,888 ・高齢者等冬季生活支援助成金 950 ・健康元気づくり館温水ボイラー設備取替工事 4,968 ・介護老人保健施設事業特別会計繰出金 16,001 ・障がい者支援介護給付費 1,589 ・北海道後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金 △ 21,077 ・後期高齢者医療特別会計繰出金 △ 1,141 ・水道事業会計繰出金 △ 2,126 ・国保診療所特別会計繰出金 3,046 ・被災農業者向け経営体育成支援事業 37,234 ・花き予冷設備等整備事業 7,400 ・農業集落排水事業特別会計繰出金 △ 1,646 ・町営住宅修繕料 1,863 ・普通教室改修工事など 3,051 ・公債費 △ 2,853		
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計	1,095,125	1,096,838	1,713
		・財政調整基金積立金 1,416	・国保連合会負担金 270	
	農業集落排水事業特別会計	412,195	410,890	△ 1,305
		・職員給与費 △ 848	・公債費 △ 457	
	介護保険事業特別会計	723,213	724,090	877
		・高額介護サービス費 949 ・介護予防・生活支援サービス事業費 3,057	・介護給付費準備基金積立金 △ 3,129	
	後期高齢者医療特別会計	95,958	92,699	△ 3,259
		・後期高齢者医療広域連合納付金 △ 3,259		
	水道事業会計	932,185	930,833	△ 1,352
		・職員給与費 △ 1,261		
特 別 会 計	国民健康保険由仁町立診療所特別会計	394,458	419,460	25,002
		・出張医師等報酬 5,610 ・職員給与費 9,848 ・病理検査手数料 2,251	・患者輸送車 3,817 ・訪問診療医療用備品 1,632	
	介護老人保健施設事業特別会計	102,390	102,751	361
		・職員給与費ほか 109	・短期入所用介護システム 252	

「てん菜」については、生育は平年並みで、日本甜菜製糖の由仁原料事務所によりますと、収量は、10 アール当たり 6.3 トン、糖分は 17 パーセントと平年をやや上回る見込みとなっています。

「豆類」であります、「大豆」については、生育期の天候不順により大粒・小粒ともに小玉傾向であります、全体的に汚粒（よごれた粒）の発生やしわ粒（シワの入った粒）裂皮（粒が裂ける）などの発生は少なく、品質は良好であり、上位等級品が中心となっています。

「小粒大豆」の収量は、10 アール当たり 3 俵と平年並みの状況となっています。

「小豆」につきましては、昨年並みの作付けとなっておりますが、集荷量については昨年を大きく下回っており、品質については、大豆同様、小玉傾向となっています。

「たまねぎ」につきましては、6 月下旬から 7 月中旬にかけての曇天多雨の影響により、防除作業ができず、また、球の肥大が進まなかったため全体的に小玉傾向で、収量は、10 アール当たり 4.2 トンと平年を下回る結果となっています。

「馬鈴しょ」については、全体的に小玉傾向で、降雨の影響により腐敗・裂開の発生が若干見られましたが、例年問題となる病気はほとんど見られず、収量は、10 アール当たり 3.2 トンと、平年をやや下回る結果となっています。

「花き」については、春先の低温と日照不足により生育が遅れ、出荷本数も約 1 割程度減少しましたが、全国的な猛暑の影響もあり、販売単価が年間を通して高値で推移したことから、販売額は 6 年連続で 3 億円を超えたところです。

その他「一般野菜」につきましても、天候や台風の影響により軒並み減収となっており、特に長芋につきましては、平年の半作以下、南瓜やメロンについても、平年より約 3 割の減収がみられたところです。

本年は、4 月・5 月は天候にも恵まれ、生育は順調でしたが、6 月に入り低温と曇天多雨による日照不足が 7 月中旬まで続き、8 月以降も気象変動があったことから、ほとんどの農作物において、収量減少の影響を受け、総じて平年を下回る残念な作況となったところです。

工 事の進捗状況について

土木・建築事業につきまして、「由仁神社線神楽橋架換工事」は 9 月 14 日に着工し、現在、橋梁下部工の作業中で進捗率は 20% であり、3 月 20 日に完成の予定となっております。

「由仁高校線歩道造成工事」は 10 月 1 日に、「第 1 太田線道路改築工事」は 10 月 10 日に、「由仁町公営住宅あけぼの団地 2 号棟建替工事」は 10 月 26 日に完成しました。

なお、「あけぼの団地」は、11 月 14 日から入居を開始しています。

次に、水道事業の「道道東三川由仁停車場線支障水道管布設替工事」は、9 月 26 日に着工し、すでに工事は完了しており、現在、工事書類などの整理を行っているところで、12 月 28 日に完成の予定となっています。

北海道日本ハムファイターズの由仁町応援大使について

北海道日本ハムファイターズでは、北海道の市町村を全力で応援する取り組みとして、平成 25 年度から選手が地域のまちおこしに寄与する「北海道 179 市町村応援大使」を実施しています。

当町においては、平成 30 年 6 月に「北海道日本ハムファイターズ由仁後援会」が発足しました。

町をあげてファイターズを応援しようと高まりつつある気運を後押しするように、11 月 24 日、札幌ドームで開催された「北海道日本ハムファイターズファンフェスティバル 2018」において応援大使の抽選会が行われ、上原健太選手と清宮幸太郎選手の就任が決定しました。

任期は、平成 31 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間で、町民との交流イベントへの参加や由仁町 PR などのまちおこしにお手伝いをいただきながら、町としても様々な取り組みを行っていきます。



農 作物の生育状況について

「水稻」については、農林水産省が 12 月 10 日に公表した作況指数は、全国で 98、北海道で 90、南空知で 87 の「不良」となり、北海道中央農業共済組合による収量調査においても、10 アール当たりの収量は、当町の平均基準単収 505 キログラムを下回る 448 キログラムとなっています。

品質については、そらち南農業協同組合によりますと、「ななつぼし」を中心に青未熟粒（成熟していない緑色の粒）の混入が多く見られましたが、腹白・乳白粒（白色で不透明な粒）の発生は少なく、概ね良好な品質となっています。

また、出荷の状況につきましては、11 月末現在の町全体の出荷数量は 10 万 5 千 159 俵で、そのうち 1 等米として 99.1 パーセントが出荷されておりますが、高品位米の割合は約 3 パーセントで過去に例のない高蛋白傾向となっています。

教育行政報告（教育長 田中 宣行）

ゆに教育の日の取組について

平成 22 年度から町民の教育に対する理解と関心を深めることを目的に、11 月 1 日を「ゆに教育の日」と定め、様々な取り組みを実施しています。

その取り組み内容ですが、11 月 1 日に町内小中学校、幼稚園、保育園において、一斉公開授業「みんなで学校へ行こう！」を開催し、昨年より 44 名多い、延 186 名の保護者や地域の方々に、子どもたちの授業の様子や活動の様子を見ていただきました。



また、11 月 26 日には、各小中学校の児童生徒の代表、合わせて 14 名を 1 日子ども教育委員に任命し「夢づくり子ども教育委員会」を開催しました。「みんなで進めよう！いじめのない、楽しい仲間づくり」をテーマに、仲間づくりやいじめの根絶などについて、学校での取り組みや課題、問題点、そしてその解

決策などをグループで話し合い、発表、決議が行われました。

子ども教育委員には、会議の内容を各学校に持ち帰り、児童会や生徒会において、いじめのない仲間づくりや楽しい学校づくりを継続的に実践されることを期待しているところです。

このほか、ゆめつく館の利用と本に親しむきっかけづくりとして、11 月を「ゆに読書月間」と定め、家庭での読書習慣の機会を増やすことを目的に、ゆめつく館で「古本市」や秋の絵本展「なぞとき探偵はきみだ！」を開催したところです。また、由仁町文化連盟が主催する「由仁町文化祭」や「由仁町芸能音楽発表会」についても、教育委員会として支援や後援を行っているところがあります。



場所：ゆめつく館

町政を問う

一般質問

近 年の急激な人口減少と少子高齢化、核家族化が進む中で、墓を継承したり、手入れることが難しくなり、墓じまいに踏み切る人が増え、自治体での合同墓の設置が進んでいます。

合同墓は自治体の公営墓地で複数の人の遺骨を 1 か所に共同埋葬するもので、新聞報道によりまずと既に道内で設置している自治体は千歳、江別、北広島、恵庭などであり、検討中の自治体は三笠など数

佐藤議員



町 長

佐藤議員

他市町の設置運営状況と費用対効果を含め検討していく

合同墓の設置について

墓 地の設置や運営、火葬や遺骨の収骨などに関する法律により必要な規定が定められていますが、近年は少子高齢化の進行や核家族化、承継者の家庭事情から収骨の管理方法も少しずつ変化している状況です。

遺骨の収骨に関しては、自治体などが設置する墓地や霊園、寺院の納骨堂などに収めることとされ、これまでは家

町長答弁

市町村あります。隣町の長沼町も合同墓があります。由仁町でも合同墓の設置の考えはないのか、町長の見解を伺います。

単位で収骨することが一般的でしたが、近年の社会情勢の変化に伴い、複数の遺骨などをまとめて収骨できる合同墓を設置する自治体もあり、議員指摘のとおり、北海道内で都市部を中心に、近隣町を含めた 19 の自治体が設置済みです。

公営・自治体設置の合同墓は、承継者がいない方や新たに収骨するために高額な墓石の建立または納骨堂への収骨が必要な方にとっては、負担の少ない利用手段となっています。

合同墓の設置にあたっては、他市町の設置運営状況とともに費用対効果を含め、時間をかけて検討していきます。

ことば辞典

●合同墓

合同墓（合祀墓・永代供養墓）は、少子化などの社会状況の変化から、家で代々受け継ぐ墓石のお墓ではなく、継承者を必要としない多くの人の遺骨を共同で納めるお墓です。道内では、都市部を中心に設置が増えてきています。

議会だよりでは、スペースの都合上、議案や質問・答弁などの内容を要約して載せています。ご覧になりたい方は、議会事務局までお問い合わせください。なお、由仁町ホームページからも議決結果および会議録をご覧になることができます。

災害時における避難所のあり方について

開発局・建設業協会など関係機関との
協定により、必要な機材を調達

早坂議員

年9月に発生した台風21号そして北海道胆振東部地震は記憶に新しい災害です。当町においても、台風21号は瞬間最大風速23・5mを記録し、地震においても震度「5弱」であり大きな被害が確認されています。真夜中の大地震であり、軽傷ではありますが人的被害がありました。

避難所開設はありませんでした。理由として、災害時における非常電源の設備がないためだと思います。「石狩低地東縁断層帯」の上に位置する当町です。今後起きうる災害に対し一刻も早く三川・川端地区に設備が必要と考えます。町長の見解を伺います。

町長答弁

月に発生しました台風21号および北海道胆振東部地震は、当町が隣接する厚真町をはじめ、道内各地に大きな被害をもたらしました。改めまして、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被害にあわれた方々にお見舞いを申し上げます。

さて、これら2つの災害対応における避難所の開設でありますが、台風21号の際には開設を

いたしませんでした。北海道胆振東部地震の際には、家屋が被害を受けている可能性があることから健康元気づくり館を避難所として開設し自主避難を促したところであり、9月6日からの3日間で7名の方々が利用されました。三川地区および川端地区におきましては避難所を開設しませんでした。これは、午前4時から行ったパトロールの結果、主要道路が通行可能であったこと、把握した被害状況から避難区分を自主避難としたことなど、非常用電源の有無だけでなく複数の要因から開設不要と判断したものであります。

「備えあれば憂いなし」と言いますから、設備が整備されているに越したことはありません。現在、三川地区および川端地区には非常用電源を備えている避難所はありません。

しかしその対応策としましては、北海道開発局および由仁町建設業協会など、非常用発電機などの必要な機材の調達が可能な事業所とすでに協定を締結しており、災害時における電源確保対策は講じています。

災害時の避難所の開設に当た

町長の出処進退について

引き続き、小さくてもキラリと輝くまち、元気な
まちづくりに全身全霊で取り組んでいきたい

吉田議員

町長の任期も残すところ4か月余りとなりました。町長の進退については、町民の皆さんの関心も大変高まっています。

町長は平成27年5月に就任以来、常に町民との対話を重ね、町政に当たってきました。

また、健全財政を心掛けたまちづくりを進められ、ハード面では町立病院の診療所化、介護老人保健施設の開設、給食センターの新設。ソフト面では高齢者の介護予防事業、子育て支援

事業、移住・定住促進対策、企業誘致、ふるさと納税など常に課せられた課題に積極的に取り組んできました。今後の町政運営を考えると、地方交付税交付金の大幅な減少など、その状況には厳しさがありませんが、町民が安心して暮らせるまちづくりのため、どのような考えを持っているのか。町長の出処進退について伺います。

町長答弁

の任期も僅かになりました。だが、由仁町を取り巻く状況は、町内外を問わず課題が山積し、財政状況も含め依然として厳しいことには変わりありません。

まずは、残された任期を、町長として、その責務を全うすることが第一であり、手を緩める

ことなく町政執行に努めていきます。

そのうえで顧みますと、この4年間は、現場に足を運び、この目で見て、町民の皆さんの声に耳を傾けながら、まさに駆け足の状態で、「走りながら考える。」「一端立ち止まる。」「後ろを振り返る。」と自問自答を繰り返す、そんな日々の連続でありましたが、まだまだ道半ばと考えています。

激動の昭和、そして30年にわたる平成の時代がどのような言葉で総括されるのか分かりませんが、新しい時代を迎えようとしている中にあるのも、少子高齢化・人口減少の流れは止まらず、これまで経験したことのない年齢構成の地域社会や社会構造の変化は急速に進んでいます。

由仁町にとつての平成は、近隣町と比べ遅れていた社会資本・インフラの整備、大規模プロジェクトなど、この「マチ」の未来へ向け莫大な投資がなされ、町民の皆さんの暮らしは飛躍的に変わり、快適で都市的な利便性を享受することができるようになりました。

その一方で、そのために起こした地方債の償還は、新しい時

りましては、災害の種類や場所、被害の状況などから総合的に判断して決定しており、場合によっては、固定式の発電設備よりも汎用性が高い移動式の発電機の方が活用できることも考えられます。

そういった事情から、今後も協定を積極的に活用して対応していきます。

ことば辞典

●石狩低地東縁断層帯

石狩低地東縁断層帯は、石狩平野とその東側に分布する岩見沢丘陵、栗沢丘陵、馬追丘陵との境界付近に位置する活断層帯です。

この断層帯は、石狩低地東縁断層帯主部と石狩低地東縁断層帯南部に区分されます。

石狩低地東縁断層帯主部は、美唄市から岩見沢市、栗山町、長沼町、由仁町、千歳市を経て安平町に至る断層帯です。

石狩低地東縁断層帯南部は、千歳市から安平町、苫小牧市、厚真町を経て、日高町沖合の海域に至る断層帯です。

代を迎えても続き、人口減少社会に対応すべく町のリ・デザイン（最適化）、リ・ニューアル（新しくする）の足かせになつていくのです。

これからも地方の小規模自治体にあつては、右肩上がりの振興発展は大変難しい中で、私達が次の世代へ引き継ぐものが借金と老朽化した施設だけというのは決して許されることではありません。

由仁町は多くの課題を抱えています。私にはなによりも町民の皆さんのために、これまでの4年間の取り組みを更に活かし、また、流れを止めることなく、新しい種子が真の意味で花が咲き、実を結ぶことを目指し、引き続き町政執行の先頭に立ち、「小さくてもキラリと輝くまち、元気なまちづくりに全身全霊で取り組んでいきたい。」と決意をしています。



◆◆ 町内所管事務調査報告 ◆◆

総務文教常任委員会

報告者 総務文教常任委員会委員長 加 藤 重 夫

総務文教常任委員会は、10月26日、町内所管事務調査を実施しました。

①台風21号および北海道胆振東部地震被害

(1) 台風21号被害

9月5日に日本に上陸した台風21号は、25年ぶりに「非常に強い」勢力で上陸した。全国各地の観測点で史上最大の最大瞬間風速を観測し、由仁町では午前4時に23.5mを記録した。

○民間被害状況

・人的被害 なし

・住家 屋根など一部破損8件、民地倒木対応3件

・農業 ビニールハウス被覆266棟、倒壊109棟、納屋など損壊92棟ほか倒木

・農業被害額概算6千9百万円

・商工業 店舗建物8件ほか倒木

・商工業被害額概算1千5百万円

○公共施設被害状況

・町施設 倒木100本程度、道路11路線倒木により一部通行止、施設損壊9施設ほか公共施設破損被害額概算1千万円以上

(2) 北海道胆振東部地震被害

9月6日、胆振地方中東部を震源に「最大震度7」マグニチュード6.7を記録した大地震。厚真町では土砂崩れに巻き込まれ死者が出た。由仁町の震度は「5弱」であった。

○民間被害状況

・人的被害 軽傷2名、避難者3日間延べ10名

・住家 倒壊のおそれ1件、一部倒壊10件ほか墓石被害

・農業 法面崩壊など2か所

・農業被害額概算1千8百万円

・商工業 店舗建物1件、商品1件

・商工業被害額概算 6千50万円

○公共施設被害状況

・道路 12路線46か所 陥没または沈下、2路線3か所 亀裂

・道路被害額概算 4千2百万円

・農業集落排水 マンホール3路線3か所破損、管路1路線破損の恐れ170m

・集落排水被害額概算3千4百万円

・公共施設損傷 7施設

◆所見

①台風21号および北海道胆振東部地震被害

台風21号では当町においても最大瞬間風速23.5mとなり、住家の屋根や農業施設、商工業施設のほか、倒木などの被害がありました。

また、北海道胆振東部地震では、当町の震度は「5弱」の強い揺れにより、軽傷とはいえ人的被害をもたらし、民間施設、公共施設問わず大きな被害が確認されました。

現在、最終的な被害は把握できていない状況であります。災害は忘れた頃に再びやってきます。今回の経験が再び災害が起きた時の対応へ活かすことができるよう、状況の記録・保存、また次世代への申し送りが重要と考えます。

②ふるさと寄附金の状況

担当課の創意工夫により、昨年度1億3千万円を超えるまで寄附額を伸ばしてきましたが、今年度においては返礼率の見直しにより9月末現在で約2割減となっております。今後は、総務省通知により返

②ふるさと寄附金の状況

(1) これまでの実績

年度	件数	寄附額(万円)
平成25	11	183
平成26	414	783
平成27	1,181	2,806
平成28	3,445	9,650
平成29	4,922	1億3,036

(2) 今年度の状況(9月30日)

2,056件 5,587万円
※前年度同時期と比較し、件数で約22%、寄附額で約20%の減

(3) 昨年度からの減少要因

新商品提供やリピーター増加による伸びはあるものの、次の減少要因による影響が大きい。
・4月から返礼率を下げたことで、高返礼率の自治体に流れた。
・天候不順より農作物が減収となり、人気返礼品の提供が減った。

・首都圏での広告、イベントなどの活動を実施しなかった。

(4) 今後の課題

農産物が豊富な当町であるが、提供できる商品の絶対数が少ないため、人気農産物が品切れとなった場合には、由仁町サイト自体の閲覧が少なくなり、それが他の返礼品も選ばれなくなる

要因となると考える。そのため、返礼品の提供事業者の増加や新たな返礼品の発掘が喫緊の課題となっている。

また、特に農産物が提供できない冬期間の減少を食い止めるため、通年で提供できる返礼品の品揃えを増やす必要がある。

③不登校児童生徒の状況

(1) 不登校の定義

何らかの心理的・情緒的・身体的あるいは社会的要因・背景により、子どもが登校しない、あるいはしたくともできない状況にあり、年間30日以上欠席がある状態である。ただし、病気や経済的理由によるものを除く。

(2) 不登校の分類

・学校生活上の影響(友人・教師との関係、いじめ、不学)
・あそび、非行
・無気力
・不安など情緒的混乱
・意図的な拒否
・これらの複合

(3) 今年度の現況

30日以上欠席者
・小学校 なし
・中学校 無気力1名、病気2名
(4) 不登校児童生徒への対応
・学校における組織的な支援

・スクールカウンセラーの活用
・教育相談員の活用

④学校施設の状況(現地視察)

・トイレ整備

計画的に改修を進め、現在の洋式化率は小学校63%、中学校56%である。衛生管理徹底に努めている。

また、今後、新たにトイレを改修する計画はない。

・武道場の有効活用(中学校)

体育授業の剣道以外に、部活動における体力トレーニングや球技などにも活用できる広さがあるが、暖房設備が無いため冬期間の使用に支障を来している状況にある。

・駐輪場の不足(中学校)

スクールバス通学以外の生徒が自転車通学している。屋根がある所は台数が限られているため、半数程度は野ざらしで駐輪している。

・普通教室の不足(小学校)

新1年生の入学人数が現段階で43人と見込まれ、施設基準である1学級35人を超えるため2学級となることから、新たに教室を設ける改修が必要となってくる。

議員の出席状況

平成 30 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日

	本会議		常任委員会		議会運営委員会	特別委員会						その他	会議数計		出席率（％）
	定例	臨時	総務文教	産業厚生		予算	決算	議会活性化まちづくり	広報	文化・交流館指定管理審査	介護保険条例審査		出席	欠席	
会議日数	10	6	2	5	6	3	2	3	8	1	1				
羽賀直文	10	6		5	6	3	2	3	8	1	1	9 / 9	54	0	100.0
早坂寿博	10	6	2			3	2	3	8	1	1	9 / 9	45	0	100.0
加藤重夫	10	6	2		5	3	2	3		1	1	10 / 11	43	2	95.6
後藤篤人	10	6		5	6	3	2	3	8	1	1	15 / 15	60	0	100.0
浮田孝雄	10	6	2			3	2	0	7	1	1	8 / 9	40	5	88.9
佐藤英司	10	5		4	6	3	2	3		1	1	10 / 11	45	3	93.8
大竹 登	10	5		4		3	2	3	7		1	8 / 9	43	4	91.5
井村勇夫	10	6	2			3		3		1	1	8 / 9	34	1	97.1
吉田弘幸	10	6	2	5	6	3	2	3		1	1	15 / 15	54	0	100.0
熊林和男	9	6										14 / 15	29	2	93.5

※一部事務組合の出欠は、含まれていません。

議会を傍聴しませんか！

- 町議会の定例会は年 4 回（3・6・9・12 月）開きます。
- 町議会の臨時会は必要に応じて随時開きます。
- 手続は要りません。名簿に住所・氏名を記入するだけです。

開会日は防災無線でお知らせしています。

◆◆ 町内所管事務調査報告 ◆◆

産業厚生常任委員会

報告者 産業厚生常任委員会委員長 佐 藤 英 司

産業厚生常任委員会は、10 月 11 日、町内所管事務調査を実施しました。

◆主要農作物の生育状況

空知農業改良普及センター空知南東部支所から説明を受けました。また、大豆およびてん菜のほ場を視察しました。

○水稲（ななつぼし）

6 月からの低温・寡照により初期生育は緩慢となり茎数は平年の 6 割程度に留まった。8 月中旬以降も低温・寡照に経過したため登熟は遅れ、成熟期は平年より 7 日遅れた。収穫作業は登熟が遅れたため進まず、8 日程度遅れた。

○秋まき小麦（ゆめちから）

成熟期の稈長、穂長は平年並みであったが、穂数は平年より多かった。収穫作業はほぼ平年並みに終了した。6 月中旬以降の日照不足で収量、品質は平年を下回った。

○大豆（トヨムスメ）

草丈、葉数、着莢数は平年をやや下回っており、ほ場間のばらつきも多い状況であった。病虫害は一部のほ場で茎疫病、べと病が見られたものの全体発生は少なかった。

○てん菜（2K314）

6 月 7 月の降雨で湿害が一部のほ場で発生した。生育は順調に推移し、草丈、葉数、根周ともほぼ平年並みとなっている。病虫害は褐斑病、ヨトウムシの発生が見られるが発生量は少ない。

○たまねぎ（北もみじ 2000）

6 月 7 月の降雨、低温、日照不足により生育は緩慢となり、球肥大期は平年より 7 日遅れ、収穫物は小玉傾向となった。病虫害は、白斑葉枯病、軟腐病の発生が多く、アザミウマ類の発生は少なかった。収穫作業は平年より 2 日遅れで終了した。

◆水稲の生育経過や品質状況

米賓館を訪問し、JA そらち南から水稲の生育経過や品質状況について説明を受けました。

○生育経過

融雪は平年より早く春耕作業は順調に推移したが、6 月中旬からの曇天多雨と低温に悩まされ生育が停滞し、さらに 8 月中旬の度重なる降雨で 9 月 15 日現在水稲の遅速日数が 6 日遅れとなり、作況についても北海道 90、南空知 87 と発表され、北海道では 9 年ぶりに「不良」となる作柄となった。

○収量

日照不足、降雨と低温により、収量は平年を大きく下回る見込み。粒が細い傾向にあり、平年より多く網下米が発生している。

○品質

「ななつぼし」を中心に「死青未熟粒」の混入が多くみられている状況である。「腹白・乳白粒」の発生は、全体的には少なめであるため、現在、「死青未熟粒」を中心に色彩選別機で除去しながら調製作業を行っている。

食味の基準となるタンパク値については、気象経過の影響を受け、全体的に高めとなっているので、施設調製のメリットを活かし基準品の確保に努めている。

◆所見

調査の結果、今年は 6 月中旬から 7 月中旬までの天候不順、さらには 8 月中旬以降にも平年を上回る降雨により、一部の寒冷地作物を除き全般的に生育は、収量および品質ともに平年を下回る状況でした。

また、台風 21 号の北海道上陸により、ビニールハウスや建物を中心に、10 月 1 日現在 1 億 3 千万円の被害を受けていました。

議会のうごき

10月

30日 陸上自衛隊第7師団戦車射撃競技会
(千歳市 議長)

11月

3日 北海道日本ハムファイターズ由仁後援会少年
少女野球教室 (由仁中グラウンド 議長)

5日 由仁町町政功労者表彰式 (ふれーる 議員)

// 日 由仁町教育委員会表彰式 (大会議室 議員)

6～7日 由仁町老人クラブ連合会指導者研修会
(東川町 議長)

6日 南空知公衆衛生組合議会第2回定例会
(長沼町 組合議員)

9日 道央廃棄物処理組合議会第2回定例会
(栗山町 組合議員)

18日 栗山町開拓130年・町制施行70年記念式典
(栗山町 佐藤議員)

18～20日 南空知町村議会議長連絡協議会道外先進
地行政視察 (熊本県・福岡県 議長)

20～21日 町村議会議長全国大会 (東京都 議長)

22日 南空知葬斎組合議会第2回定例会
(由仁町 組合議員)

26日 空知教育センター組合議会第2回定例会
(滝川市 組合議員)

30日 南空知ふるさと市町村圏組合議会第2回定例会
(岩見沢市 組合議員)

12月

4日 産業厚生常任委員会 (委員会室 委員)

10日 三役会議 (正副議長室 議長ほか)

// 日 議会運営委員会 (委員会室 委員)

// 日 全員協議会 (委員会室 議員)

12～14日 由仁町議会第4回定例会 (議場 議員)

14日 議会広報特別委員会

19日 白川祥二そらち後援会事務所開所式
(由仁町中央 議長)

1月

3日 第71回由仁町成人式 (ふれーる 議員)

5日 由仁消防団出初式 (町民センター 議長)

7日 由仁町新年交礼会 (町民センター 議長)

10日 議会広報特別委員会 (委員会室 議員)

20日 由仁町郷土史研究会新年会
(ユンニの湯 議長)

22日 由仁町議会第1回臨時会 (議場 議員)

31日 北海道新聞社新年交礼会 (岩見沢市 議長)



1月5日 出初式 (由仁駅前)



■編集／議会広報特別委員会

大竹 登・早坂 寿博
浮田 孝雄・後藤 篤人
羽賀 直文

文責 委員 後藤 篤人

平成最後の新年を迎え、町民各位におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年末に開催いたしました第4回定例会は、各会計補正予算、条例改正、規約改正等を審議いたしました。

また、全員協議会では、幼稚園、保育園を一体化する認定こども園や廃棄物焼却施設建設の準備状況の説明を受けたところです。これらはどれを取りましても住民生活にとって大事なことであり、これからの推移を見守っていかねければならないものと考えております。

昨年は、日本各地に起きていた自然災害が当町にも起きてしまいました。いざというときの対策は常日頃より考えていなければならぬと思っておりますが、自然災害の脅威を改めて考え直さなければならぬものと感じるところです。

町民各位におかれましては、本年は良い年になることを祈念いたしまして、編集後記といたします。

編集後記